

第53回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

令和5年1月12日(木) 14:00~16:00

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 大会議室

3. 出席者

(1) 委員

鈴木部会長、片岡部会長代理、石井満委員、石井由梨佳委員、遠藤委員、白坂委員、新谷委員、土屋委員、中須賀委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 河西局長、坂口審議官、加藤参事官

(3) 関係省庁

内閣官房国家安全保障局 徳永内閣審議官

外務省総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 塚田室長

防衛省防衛政策局戦略企画課 田邊課長

(4) 有識者

一般財団法人衛星システム技術推進機構 (ASTECC) 鈴木隆太 事務局長

4. 議事要旨

- (1) 議題1「宇宙安全保障分野における先端技術とその確保のための方向性」について、ASTECCの鈴木事務局長から資料1に基づきご説明をいただいた後、委員から次のような意見があった。

○日本の宇宙分野を支える技術の一部に関し、外国に依存しているところがある一方で、海外における輸出規制などの観点から、日本として自律性を確保すべき技術分野と国際協力を進めていく技術分野について今後整理していく必要がある。

○技術の実証について、基礎的な技術の実証だけでなく、それを使用したシステム全体の実証をできるような環境づくりについて検討する必要がある。

○安全保障を支える装備品の開発について、日本を取り巻く安全保障環境を踏まえると、スピード感をもって取り組む必要がある。

○宇宙分野の技術の活用について、安全保障のために必要なシステムを考えた後に検討するやり方もあるが、日本においては、今ある宇宙のインフラをどのように安全保障に活用していくかという検討が必要である。

(2) 議題2「宇宙安全保障を支える人材の確保」について、中須賀委員から資料2に基づき説明をいただいた後、委員から次のような意見があった。

○日本における人材育成について、日本のスタートアップの製造部門においては、外国人が大半を占めている状況があるところ、日本の大学の宇宙人材の育成に当たっては、社会的な課題への問題解決力を身に付けさせることが特に重要である。

○JAXAによる宇宙の安全保障への取組について、現在、積極的に安全保障に関与するようになっているが、人員が不足しており、政府機関や事業者も含めて、人材の提供による実効性の確保や人材の多様化が重要である。

以上